

年 組 名前：

問1

見出しの①～③に入る数字や言葉を、書いてください。

- ① .....
- ② .....
- ③ .....

問2

認知症になるリスクと考えられている、4つの項目は何ですか。

- .....
- .....
- .....
- .....

問3

日本の増加率が比較的低いとされる理由を、文中から30字前後で抜き書きしてください。

.....

.....

### 2050年の推計認知症患者の増加率(19年比)

| 世界全体                 |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 約3倍(5700万人→1億5300万人) |                           |
|                      | カタール 20.26倍               |
|                      | アラブ首長国連邦(UAE) 18.95倍      |
|                      | バーレーン 11.84倍              |
| ⋮                    |                           |
|                      | セルビア 1.38倍                |
|                      | ブルガリア 1.37倍               |
|                      | 日本 1.27倍<br>(412万人→524万人) |

※( )内は19年と50年の推計患者数

各国が認知症を減らす対策を取らないと、世界の患者数が2019年の5700万人から50年までに1億5300万人と約3倍に増えるとの推計を米ワシントン大などのチームがまとめ、6日付の英医学誌ランセットの姉妹誌に発表した。人口の増加や高齢化が主な原因。日本は生活習慣の見直しといった予防策の効果が出るため、分析の対象国の中で最も増加率が低いとされているが、それでも412万人から約1.3倍の524万人になるとしている。

# 認知症

# 2050年に

B

や

C

で

# 倍

研究では195の国と地域にとれぐらい認知症の患者がいるのかを推計し、さらにリスクと考えられている喫煙、肥満、高血糖、低教育歴の計4項目の推移を考慮した。その結果、全ての国で患者が増加するとの予測となった。増加率には地域差があり、中東やアフリカが特に高い。上位3カ国はカタール(20.26倍)、アラブ首長国連邦(18.95倍)、バーレーン(11.84倍)となった。

一方、アジア太平洋地域や欧州は低く、低い順に日本(1.27倍)、ブルガリア(1.37倍)、セルビア(1.38倍)と続く。日本などでは教育環境や生活習慣の見直しといったリスク軽減策の効果が出るのとみている。

教育環境の改善で世界的には620万人の患者が減るが、肥満と高血糖、喫煙の増加で逆に680万人増えるという。チームは「各国政府が資源の配分を決めたり、支援体制を築いたりするのには研究結果を役立ててほしい」と指摘している。

(2022年1月8日付 山梨日日新聞 24面)